

松本市中央図書館あり方検討委員会報告書（素々案）の概要

はじめに

1 図書館の役割

2 松本市の図書館の現状と課題

(1) 現状

(2) 課題

3 これからの松本市中央図書館のあり方

(1) 松本市図書館の将来像

一人ひとりの市民が豊かに暮らすために必要とする資料や情報を提供
生涯にわたり、市民一人ひとりの「知る自由」を保障する場
地域の課題解決を支援し、地域の発展を支える情報拠点
資料や情報と人とをつなぎ、その人と人とをつなぐ場の提供
いつでもどこでもだれにでも多様な「学ぶ」の場の提供
市民とともに育つ図書館

市民や地域にとって役に立つ図書館として存在意義を確立

(2) これからの図書館サービスに求められる視点

視点1 多様な資料・情報の提供

視点2 レファレンスサービスの充実と利用促進

視点3 一人ひとりの「学ぶ」を支える

視点4 あたらしいつながりや交流の場

視点5 図書館を利用したことのない市民へのアピール

(3) 目指すサービスを支える組織や職員に求められる視点

視点1 図書館のもつ資源の見直しと再配分

視点2 図書館長の役割と職員に求められるもの

視点3 効率的な運営方法

視点4 危機管理

(4) 目指すサービスを支える施設や設備の整備に求められる視点

視点1 ICTの活用

視点2 多様な利用形態を可能にする居心地の良い公共空間

視点3 分館ネットワーク

おわりに

資料